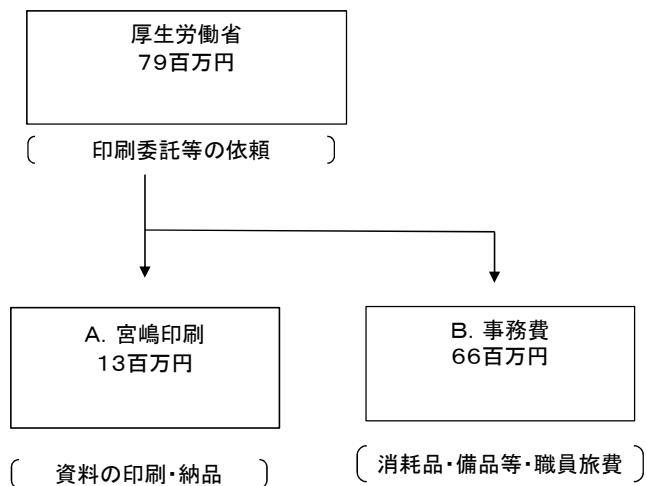


## 平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	行政指導費			担当部局庁	保険局			作成責任者		
事業開始年度	昭和40年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			大島 一博		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	—					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	職員が使用する医療保険制度資料等を作成し、効率的かつ円滑に事業を行うことを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	保険局職員が使用する医療保険制度関係資料等を印刷業者あて発注する。 保険局職員が参加する行政研修等の旅費をまかなう。 保険局内で使用する消耗品を購入する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	70	79	59	80	58			
		補正予算	—	—	—	—				
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—			
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—				
		予備費等	—	—	—	—				
	計		70	79	59	80	58			
	執行額		43	79	79					
	執行率(%)		61%	100%	134%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 — 年度	
			成果実績	—	—	—	—			
			目標値	—	—	—	—	—		
			達成度	%	—	—	—			
	定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績					
		定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			主意書の回答書や会議の開催により、保険局の政策について適切に周知することで、ひいては医療保険制度の安定的な運営に資する。 なお、24～26年度については、おおよそ見込み通りの印刷数等となっており、適正に事務費用の執行を行うことができている。					
		主意書・会議資料等の印刷経費であり、定量的な目標設定は困難。								
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標		代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 — 年度
		主意書印刷数	回答書から政策等の趣旨を適切に周知するもの。		実績	件	17	10	14	
					目標値	件	15	16	17	—
達成度					%	113.3%	62.5%	82.4%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	主意書印刷数			活動実績	件	17	10	14		
				当初見込み	件	15	15	15	15	
単位当たりコスト	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	主意書の件数より1件当たり費用を算出 (主意書印刷費用/主意書本数)			単位当たりコスト	千円	79	77	93	87	
				計算式	/	1,338/17	770/10	1,307/14	1,307/15	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	旅費		1	1						
	印刷製本費		26	15						
	庁費		53	42						
計		80	58							

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	主意書に対する回答や、公開で開催する会議の資料で社会のニーズに適切に対応している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国が使用する資料等の経費であるため		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	主意書回答書の印刷は閣議に必要であり、優先度が高い		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	少額随契を除き一般競争入札によっている		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	どの契約においても相見積もりにより最少額を支出している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	可能な限り通常の印刷で対応し、やむを得ない資料のみ印刷している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	可能な限り通常の印刷で対応し、やむを得ない資料のみ印刷している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	概ね見込み通りの印刷数等となっており、適正に事務費用の執行を行うことができています。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	必要最低限かつ、最も低価格で印刷を行っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	印刷件数が見込みを下回っている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	会議等で使用し、十分活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	各経費の必要性を検証の上、一般競争入札や相見積もりを行うことで経費削減に努められた。				
	改善の方向性	今後も限られた予算の中で最小限のコストとなるよう努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	28年度概算要求において、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	259	平成23年度	230	平成24年度	196	
平成25年度	229	平成26年度	241			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
(「資金の流れ」に  
おいてブロックご  
とに最大の金額  
が支出されている  
者について記載  
する。費目と使途  
の双方で実情が  
分かるように記  
載)

A.宮嶋印刷株式会社			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	印刷経費	13			
計		13	計		0
B.有限会社タケマエ			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	消耗品購入	53			
計		53	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮嶋印刷株式会社	主意書の印刷	13	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社タケマエ	消耗品等購入	53	3	単価契
2	株式会社リコー	消耗品等購入	14	3	単価契
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					